

みんなで守る、安全なまち。

犯罪の起こりにくいまちにしようと、パトロールや子どもたちの見守りを日頃から行っている地域があります。区内で行われている防犯活動を紹介します。

北白石地区の防犯活動

町内会や学校、老人クラブなど地域の団体が構成する「北白石地区安全・安心のまちづくりネットワーク会議」では、平成18年に青色パトロール隊を結成。週2回小中学生の下校時間に、青色回転灯をつけた車で通学路を中心にパトロールをしています。地区内で事件が起こったときには、発生した時間帯を重点的にパトロールを行います。

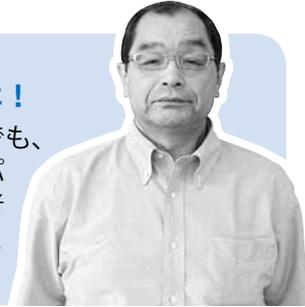
また、毎年同会議のメンバーが集まり、防犯決起大会を開催。大会後には、青色パトロール隊がパトカーと共に地区内の小中学校を回り、防犯ホイッスルなどを子どもたちに贈っています。



▲防犯決起大会後のパトロール（平成25年は8月28日に実施）
▲防犯ホイッスルなどを贈呈

地域を挙げて不審者が立ち入りにくいまちに！

青色パトロール隊の活動以外でも、メンバーがそれぞれ積極的にパトロールをしています。不審者が近寄りづらくなるように、これからも続けていきたいです。



北白石地区安全・安心のまちづくりネットワーク会議事務局長
田畑 隆二さん

大谷地小学校PTAの子どもの見守り活動

大谷地小学校では下校時に児童の見守りを行うボランティア「アスクールガード」として、4人が活動しています。



平成24年からは、PTAでこの活動を支えていこうと、保護者が分担してスクールガードと一緒に通学路を歩き、子どもたちに声を掛けるなどの見守り活動をしています。

今年には約30人の保護者が参加。人数が増えたことで、これまでよりも広い地域の見守りができるとなりました。



何かの“ついで”に、気軽に見守り！

近所の大人が見守ることで、子どもたちは安心して通学できます。買い物のついで、ごみを出すついでなど、何かの“ついで”にあいさつをしたり、話し掛けたりするだけでも見守りになります。

大谷地小学校PTA会長 金井 誠司さん

しろいしクイズ!

平成25年8月末現在で、白石区では1,409件の犯罪が発生しました。このうち約6割を占める犯罪は何でしょう。

- ①粗暴犯 ②窃盗犯 ③知能犯

正解者の中から抽選で5人の方に共通ウィズユーザーカード（1,100円分）を差し上げます。

応募方法

郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号、クイズの答え、この特集（白石2～4ページ）へのご意見・感想、今後特集で扱ってほしいテーマを記入し、区総務企画課広聴係（白石1ページ参照）へはがきかファクスで。1人1通。締め切りは10月31日（消印有効）。当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。



もっと詳しく!

防犯を知りたい方は

札幌市では防犯をテーマにした出前講座を行っています。また、防犯に関するDVDや教材の貸し出しもしています。詳しくは、お問い合わせください。

詳細 市民まちづくり局区政課
☎211-2252

広告

